

## デジタル林業戦略拠点構築推進事業の採択



国の公募事業である令和5年度デジタル林業戦略拠点構築推進事業について、県と、林業経営体や木材加工業者、IT企業、研究機関等で構成する「静岡県東部地域デジタル林業推進コンソーシアム」が提案を行い、3月27日付けで事業採択された。採択されたのは、全国で、本県を含め3地域であり、国の予算総額1億2千万円のうち、本県への内示額は3千7百万円である。

### 1 事業内容

県東部地域において、令和5年～7年度の3年間で、林業活動に先端技術をフル活用する「デジタル林業」の実践、定着に取り組んでいく。

- 伊豆市大平に整備された中間土場を核としたデジタル技術の活用による木材生産・流通の効率化を図る需給情報共有システムの構築
- 木材生産現場におけるドローンを活用した生産計画作成の効率化や施工管理の省力化 など

### 2 デジタル林業戦略拠点構築推進事業（国・令和5年度新規）

|        |  |
|--------|--|
| 事業実施主体 | 公募で採択された地域コンソーシアム（都道府県、市町村、複数の原木供給者、原木需要者、金融機関、大学等で構成）         |
| 対象事業   | ・ 検討会開催<br>・ コーディネーター等人材活用<br>・ 資源管理、生産管理等にデジタル等の先端技術を導入する実証活動 |
| 国予算    | 1億2千万円   |
| 補助率    | 定額、1/2以内   |
| 採択件数   | 3件程度   |

### 3 静岡県東部地域デジタル林業推進コンソーシアム

県東部地域において、「デジタル林業」を実践する戦略拠点を構築し、県産材の増産と安定供給などを図るとともに、取組成果を全県に波及させることを目的に、静岡県森林組合連合会が発起人となり、令和5年2月に設立された。

|     |  |
|-----|--|
| 構成員 | 県、関係市、静岡県森林組合連合会、原木を供給する林業経営体、木材加工(合板製造)業者、県立農林環境専門職大学、アグリオープンイノベーション機構、金融機関、IT等企業の25者 |
| 会長  | 中谷 多加二（静岡県森林組合連合会 代表理事長）   |
| 事務局 | 静岡県森林組合連合会、県森林計画課  |

担当 : 経済産業部 森林・林業局森林計画課  
連絡先 : 森林計画班 TEL 054-221-2666

# 静岡県東部地域デジタル林業推進コンソーシアムの事業概要

- 静岡県においては、**木材生産量の増加や合板工場等への需要に応じた安定供給のため、資源解析、生産団地の設定、基盤整備、FAOIプロジェクトを推進**
- 生産、流通の基盤を活用して林業の成長産業化を図るため、**先進的な取組のモデル化に適した東部地域でデジタル林業を実践し、県内外へ普及**

## 静岡県におけるキーワード

|                                |
|--------------------------------|
| 生産適地がまとまった <b>生産団地での主伐・再造林</b> |
| <b>(株)ノダ (合板工場) との安定供給協定</b>   |
| <b>静岡県下における東部地域の優位性</b>        |
| 豊富な森林資源、有利な地形、生産団地11地区         |
| <b>合板工場への県内丸太供給の2/3を担う</b>     |
| 流通の要である <b>県森連が中間土場を新設</b>     |
| <b>新興林業地で、新しい取組に前向き</b>        |
| AOI機構、CNFプロジェクト等の研究拠点が集積       |

## 東部地域における課題

|                                  |
|----------------------------------|
| 増産、安定共有のための生産団地等での集約化の効率化        |
| <b>安定供給の強化に向けた、生産・流通の効率化のための</b> |
| ・生産管理の効率化                        |
| ・ <b>丸太の生産情報、納品情報の即時共有</b>       |
| ・中間土場の仕分け機能の強化                   |
| 主伐・再造林を促進するための造林保育の低コスト化         |

## 既往の成果

|                                     |
|-------------------------------------|
| <b>ふじのくに森林・林業イノベーションフォーラム</b> (62者) |
| <b>QGIS、ドローン研修等による人材育成</b>          |
| <b>木材需給情報共有システムの試験研究</b> (H29～R元)   |
| <b>丸太検知、ドローン防護柵点検、下刈機械化の検証</b>      |

## デジタル林業戦略拠点の展開

### 取組内容

|                                     |   |
|-------------------------------------|---|
| <b>集約化の効率化</b><br>GNSS測量／画像解析 + GIS | <b>生産・流通の効率化</b><br>山土場でのデジタル検知による生産管理<br><b>丸太生産・納品情報共有システム構築</b><br>中間土場でのデジタル検知による丸太選別 |
| <b>造林保育の低コスト化</b><br>機械下刈、ドローン獣害対策  |   |



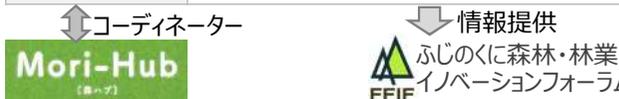
### 将来像

|  |                       |                                    |             |
|--|-----------------------|------------------------------------|-------------|
| デジタル情報による境界確認や施業提案<br>下刈の機械化、獣害防護柵点検の省力化 | 丸太のサプライチェーンマネジメントの効率化 | 目標 木材生産コスト<br>▲639円/m <sup>3</sup> | イノベーションの自走化 |
|--|-----------------------|------------------------------------|-------------|



## 静岡県東部地域デジタル林業推進コンソーシアム (25者) デジタル林業戦略拠点構築推進事業で取り組む3年間のスケジュール

|         |  |
|---------|--|
| 原木供給者   | 田方森林組合、(株)ふもとつばら、(株)森ラボ<br>ほか 計13者         |
| 流通関係者   | 県森林組合連合会 原木需要者 (株)ノダ                       |
| 研究・開発支援 | (一財) AOI機構                                 |
| 人材育成    | 県立農林環境専門職大学                                |
| 経営・金融相談 | (株)静岡銀行                                    |
| 森林情報・助成 | 伊豆市、静岡市、富士市、静岡県                            |
| 技術提供・支援 | (株)地域創生Coデザイン研究所、<br>ヤマハ発動機(株)、山秀情報システム(株) |



| 取組内容                    | R5       | R6         | R7 | R8～ |
|-------------------------|----------|------------|----|-----|
| 集約化・生産管理                | 導入、検証、検討 | 改良、実証      | 実装 | 普及  |
| 生産・納品情報共有<br>デジタル検知丸太選別 | 合意形成、開発  | 検証・改良・合意形成 | 実装 |     |
| 造林保育の低コスト化              | 検証、課題検討  |            | 実証 | 実装  |

## 東部地域のモデルケースを県内外へ普及

- ・県森連の中部、西部の市場を介して流通面から普及
- ・ふじのくに森林・林業イノベーションフォーラムを通じた普及
- ・全県を網羅する地域協議会での林業現場における実証による普及
- ・FAOI先端技術コーディネーターによる先端技術のマッチングや実証の支援

